大和國名所舊跡古蹟集

春日社　鹿島社　尊勝寺

東大寺　法華寺　法隆寺

改正

繪入

# 南都名所記

二月堂　觀世音　開帳附

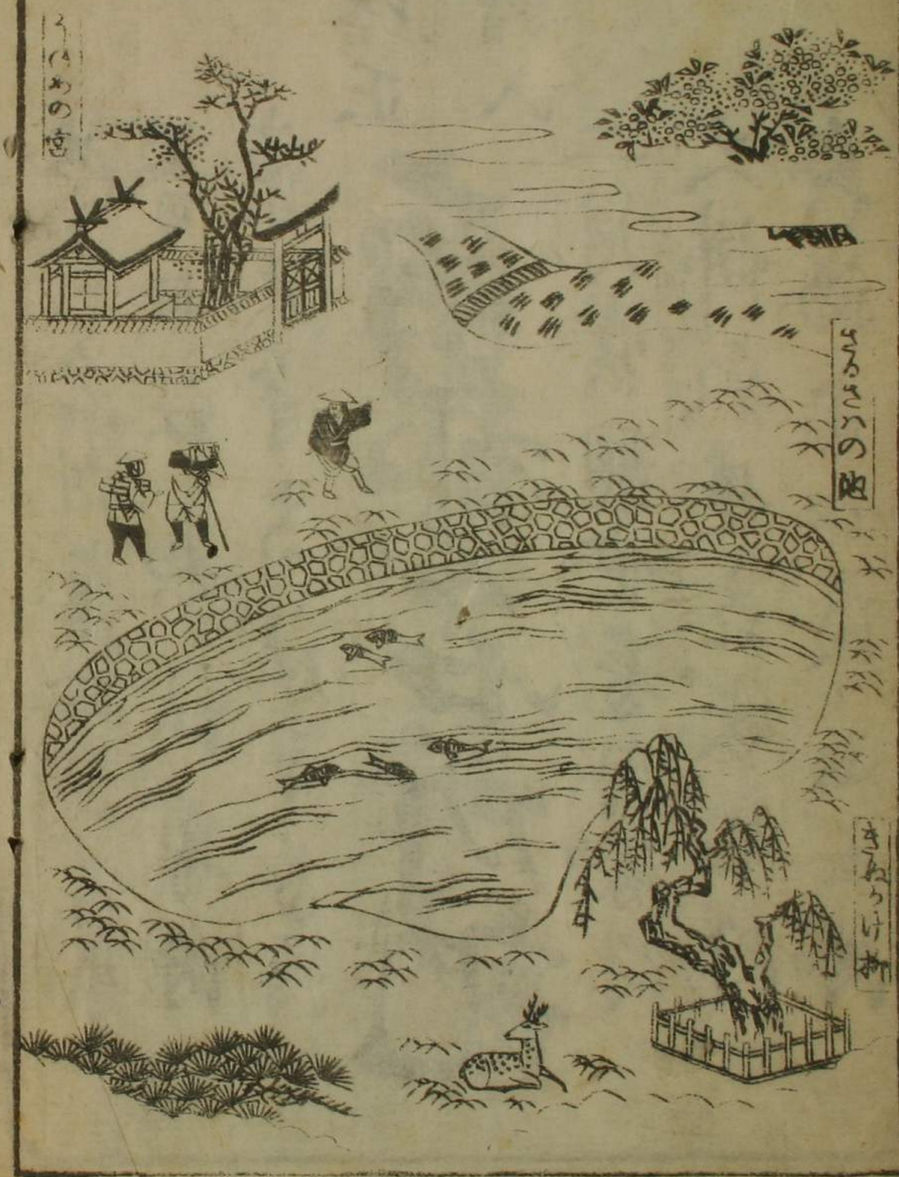
大佛殿　建立緣起　附

興福寺　伽藍　造立附

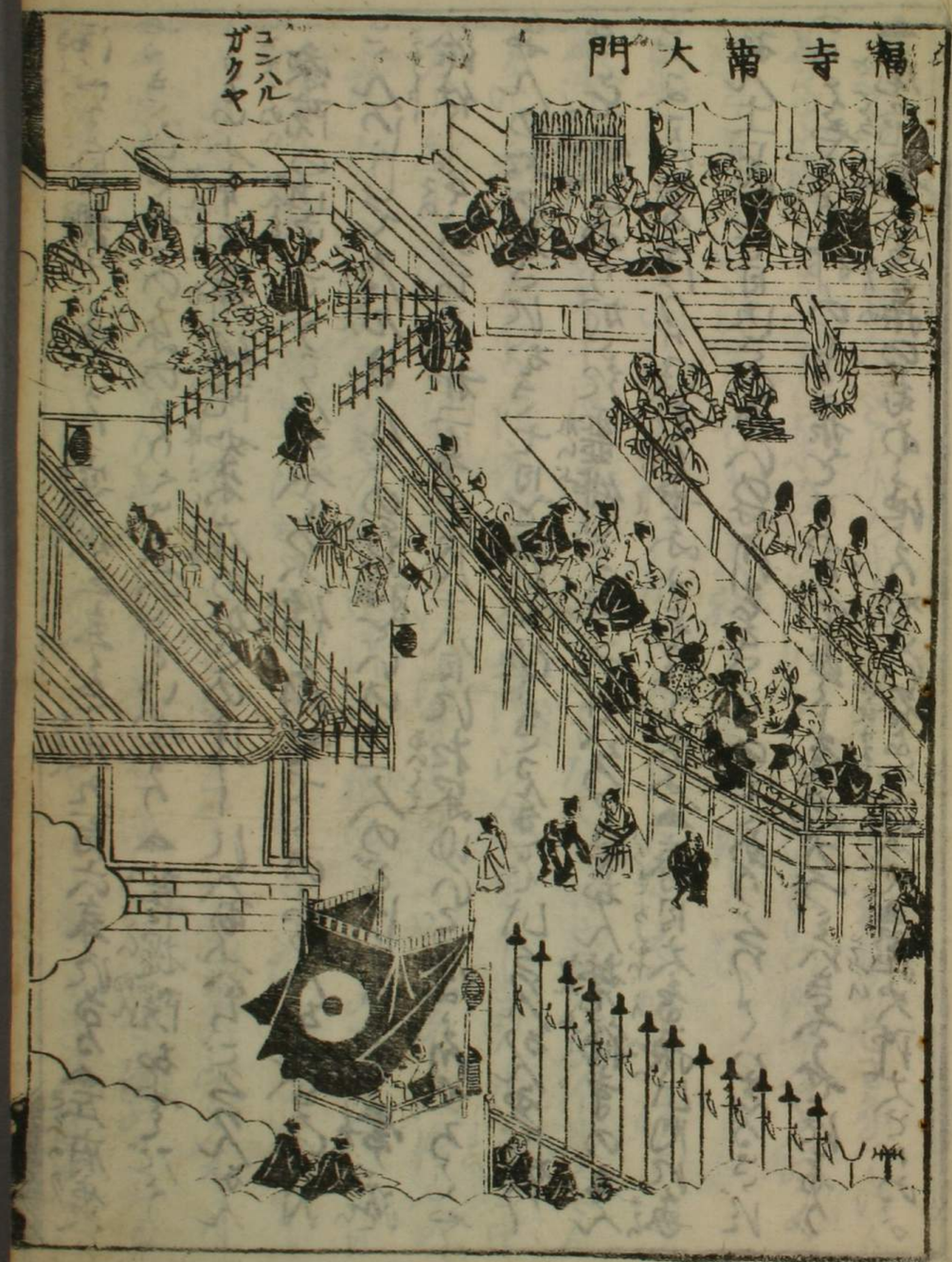
ル 4
2001

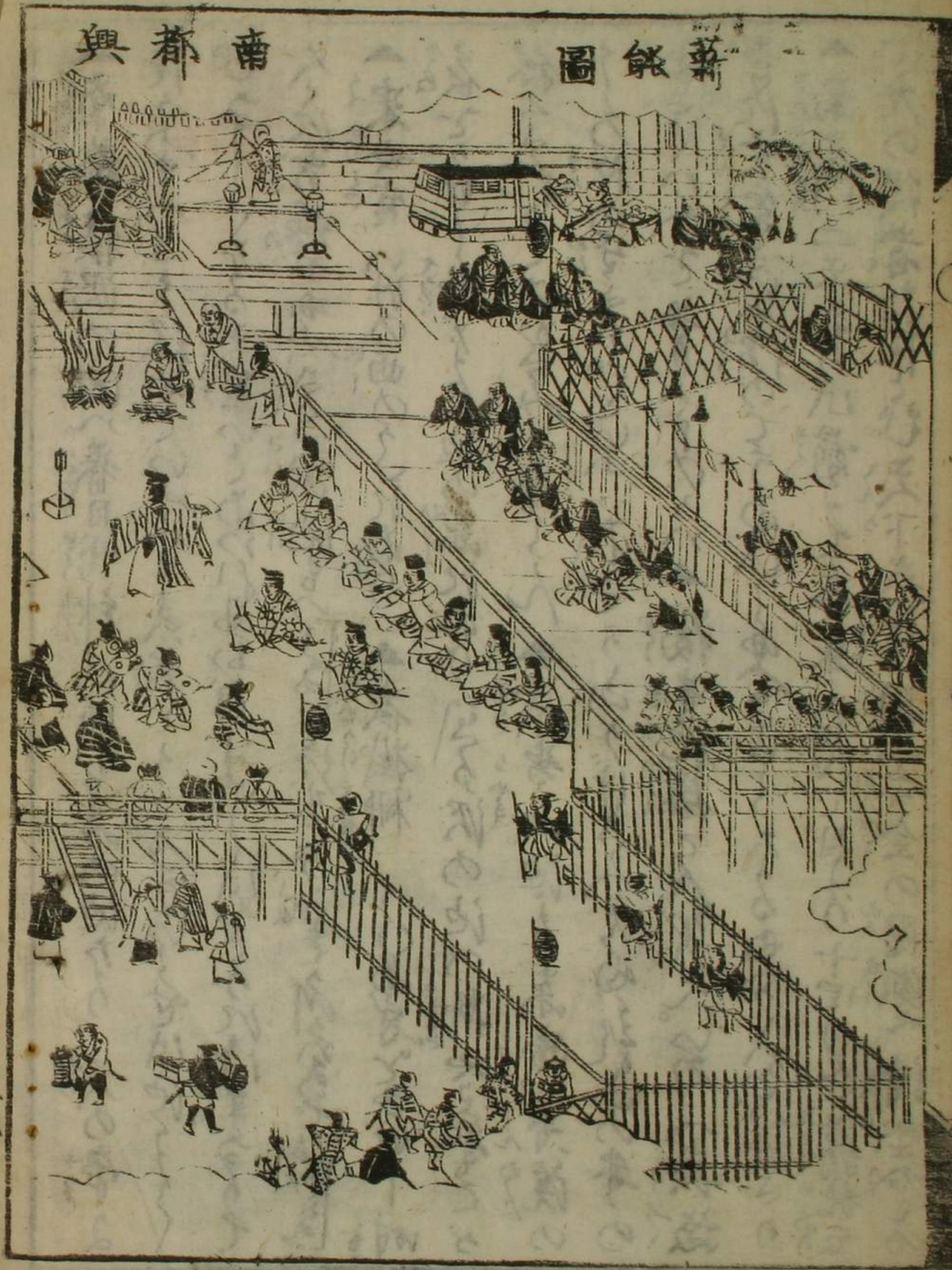
124.2001

# 奈良八景




▲南都猿沢の池へ春日明神のほかぐみの池なり。天の帝よ
ばせたまふ。さるさハとうみまいらせ山池ゝゝく
ひさしくなる。天皇いとあはれおぼしめ渡り給ふ
人々に宮の姫せあふさる涙の池もつゝまれてもこがれぬるそひあまた
▲東女宮。いけの西のうねめにあり ▲衣掛柳。うねめ宮とあげ一時
衣をうゝ掛なり。池の東にあり 可る沢の池の柳やうなるこゞ
孫ぐゝれぐゝのかゝみゝるゝ ▲清澄寺山。池より東成身院の
うゝ松のせゝるゝ山とゝ ▲うゝぶさゝへ山の井の
あさくゝ人を掛りゝゝ ▲楊貴妃楊。こんぐゝ。第八奥海
きさに玉宗といふ信のてうあひゝあさゝゝなるゆかくゝおづけさり
▲南大門二王あり山前にて毎年二月七日より十七日を新龍五
ゝ花の役者おはとゝ。天下泰平國土安全の因源ゝ。清和天皇の


福寺南大門
コンハル
ガクヤ


新橋圖
南都興

清宮貞親十年こう安永三年をへて九百六年にあり▲左府実
ゆきさひさつらの本のりくさふづらといふなり▲菩提院かきだう
しるしいふ本なる所遠陀寺花のかさのぼしーに入あふからごらんかん
一条院の御字てうこう人さんといふ僧。何せでしのこうんかんまい月
さんろうして乃ひけんでのむ孫といふ。一人のごけじきこう常流
給仕ー。そのちまち和二年三月十八日にわ家。ゆいでんはあるろくや
ゆんの松の名さにおきぎ七月と煙くひきうんをこだいらうんかんをてあり
ぎとあるはりがくに霊仏をうこうくいろくやゆん拝九福寺の名ん
きこの月名ぬ。ぼりがひあり。世ふナ三ぐひとしよ▲春日大名長代四に名
孫ん十月九七日にさんをいの名の月きくのとありうりくいまるさだ
のりこやある社のる長ととありてあ寺ー孫のつこいきこうせにゆう
▲尾花谷大名長の名あ〜池ろうぐこの名ことしよ▲孫大師ことりあ



かとつる、かとりのことおひの世ちりう出とりんよ今餐日あそこ名つこけん
▲る出橋。大きりかよう本のかさにくりしとしよさいをといの時ゆぎこあめろと
ひとところうにぞれるり。是ようこ実社まぞかとぐ野といふ
年ノごにうひの年こ名引ごせくのりくいさひるかすづけこう
▲所し旅所。毎年十月ふ年本の月てんをなそ日九六日にぐんの人さん
りのりてやぶさあり日ゆりろこや出洋らんびゆうーあり九七日西中
大ふ名ようありるりるさこ金いの法寺ふいとみあ〜ぐ。冷人の
鼻ありぎまふあり。そのち還洋神秘ゆくられとのぞく。日九八日
四社の鶴あり。▲洋寺池。おびあう辰巳のくさぐりとふあよ
池のかくちあり。かと洋くありりのかどこれ外まやそ水三名の出ろ月
▲雪消澤。おびあうまてだりう本ものゆくかを坂乃よ沢のりちろ
なるふくれくゆきげの沢よとでられくまぐ裏日ときりかをそたい

御奉行
御奉行馬
仕丁赤衣殺人
戸上公人
春日
若宮
御、
祭
禮
柏手人

小泉家中
高取家中
伊賀家中
郡山家中
日使
是ヨリ西
大名馬

▲高瀬。ゑがら川といさ川との大明神社。ふたつの川合流せるところにあり。はしとゝ橋とゝいふ。そこにせんどの橋とゝいふ。ちかくに社あり。二ヶ所ありひがしの方地蔵●本願寺の屋●上の屋●瓦の屋●新造の屋あり。もと西の屋とゝいふ。真福寺僧侶八月さんろくして天下泰平國土安全の門祈願あり。その外屋敷ごとに。右本道▲東屋敷こゝ〻屋のうしろまでのうしろ。前ゝこに位牌あり。「お浚と橋」えんさの

ゝをそこまでもれ社の門級とぞなれ●二の宮屋。宮屋こゝ〻もそこ〻

社。東宮社。やあり。きりの人〻の方の社〻▲波戸社。瀬津比咩社〻

社〻どんの石ところ〻に幣あり。これ〻そこ〻ひまを清め社参すること

▲神垣殿。こゝひどの社の東のかどをいふ。社〻きのりの下紫ハ

ち〻きそ拝をかどのこゝかとぐ神こゝ。右ゝ左ゝ二ヶ所あり。

右の方ゝ拝ハ着到殿。ゝとゝ参りの勅使つきゝゝ殿人ゝと名引よ



のせこゝるとなり。たりとゝ拝ハ殿の宮殿ひりゝへゝちのえの殿ゝ殿ハ号ゝ。

ゝ社殿ゝまこゝそのゝ宮殿の左右のそとのうゝ板ゝ打とつゝ板きてがゝ

ゝらのさかりと為してゝおゝくゝゝ長ゝとゝゝ長ゝくゝもなせよゝらゝ

ゝりのゝゝゝのゝきゝげ▲面廊。西ゝ三門あり。南ハ長屋門。中ハ俗正門

東ハ門侍門▲神殿川。ゝの門とゝて中ゝりゝゝくゝかを北川とゝふゝゝ

や清きゝゝゝれゝこゝ北ゝ川とゝふゝゝ社の西ハゝ▲直會殿。ゝゝけハゝゝと

俗ゝゝ殿ゝう八傳殿とゝいふ。ゝゝゝゝゝゝゝゝ殿あり。東ゝりのゝゝちゝゝゝ幣を

たてゝゝゝゝゝゝ。神楽所あり▲金剛寺。寺ゝの社。俗称蔵尊。ゝゝゝ門

をゝてたゝゝのゝゝゝ▲椿社。ゝ見宮稲命。相殿ゝ明神。大ゝ上ゝ神

住吉神。田心姫。湍津明神。大物主命。栗栖社。火部神。八

雷神。いゝゝも大ゝやゝてんのゝしろゝ。門陸ゝ小社二座有。南西向八

たちゝゝその社。の方ゝひゝゝてん去人主神。風神社。立田山神。大ゝ法殿

いぬゐの方南西へ。岩倉大明神大文字殿ゑひつじさるの方
▲春日大宮御所。二の御殿さけいうつちのとの。三の御殿いぬゐの方。
はに殿あまつ月ごや稲の宮に御殿ひのあんかく。二ゐいらう門南向。北に鹿角せう
とくゑ人宮のはらうぶんごけいうん一年十二月九日御所ゑ時風麦ゑ食
乙卯九。安永三年ゑ乙ゑ九年にあるゑ。あまつ八に明天白ゑ力ーゆうこ二年九
月に中ほ麦ゑんーゆてそうりんゑ麦ゑでう白ゑん
ゑ年十月九日かのくさるの歌ゑ。ゆて祭あり。まの年二月十二月辰の日
ゑり成の日まそおこうゑる。申の日ちはたちきくのあわこれと略と
貞享元年ゑ安永三年ゑ九百廿七年にゑる▲神護寺。大きゆ右
の方。西の向の社なり▲青柳。幸柳。宗業。弁業。ちんこーより
南の方のおとうこ▲南門。二ゐいらう。月ゆえ。赤童子れ。永禄元年
如意ゑ月ゆえ。康保元年ゑ。ゑ。ぎうるゑ。あのわきけ。祐任方

社のとうひゑ人ゑ一ぶ。ゆうきゆあのごとにあり。ゆ。▲布生
橋。ゆのゆきの南のとうとふ。春日古記。ありがとゆゆゆのとうとち
ゆうたむけのかうきうぐうき▲義之小院小社一童子
明神。ふーゆうのとうゆう南東ゑ人▲南宮明神▲云王明神。ゆうち
きやごてんのゆのゆうり▲ゆうきゆ所。天神雲命。大明神。ゆうきふ
ゆうりあひて。弐百廿六年ゆ。一條院のとうゆ。長保元年三月三日
はあゆ人中ほ長忠。ゆうこのーこのはそんへうーまりーー安永
三年ゑ七百七十年にゑる。そ。ゆち百三十三年ゆ崇徳院の人の
はうゆ長兼ゑ年二月廿七日別社ゆせんぐうゆ。ゆうく。祐人。保延二年
九月十七日にゆゆこのとうゆ。そのゆち。寛正年中ゆう十一月廿七
日ゆゆる。円ゆ人ゆゆ社ゆり。ゆゆて通合神。南八ゑ力雄神。そ。じて
ゆうゆうゆのはゆ神八ゆ人ゆ。一家の秘法ゆり。神ぜんそ毎年二月

春日社


若宮社

たなべの紙のせん。毎日にて其の紙あり。はまかぐらあり。[illegible]
こをど▲三十八社神日本[illegible]▲[illegible]良新明神。三十
八社の面の[illegible]
[illegible]▲条[illegible]▲沼津社日明神。[illegible]
神[illegible]▲[illegible]神社。[illegible]
[illegible]山の北[illegible]。青瀧[illegible]。中間[illegible]。[illegible]。春日[illegible]
[illegible]
[illegible]▲安[illegible]屋この[illegible]
門[illegible]▲水[illegible]社[illegible]
[illegible]南海神[illegible]。[illegible]
[illegible]



[illegible]
神[illegible]社神。[illegible]
[illegible]
[illegible]

▲法華堂羅漢寺院金蓮寺世ホニ二月堂ト云ハ平入寺開ハ日
本僧西行ハ俗ニ佐藤左衛門尉ト云ハ後ニ有余年ヲ経ていさゝか水火ホの難ヲ
ホ者ることハ空海ハ密宗ノ教世者ゞ行基菩薩ハ法華経ノ者ゞ
慈覚大師ハ天台ホハ法華ノ者ゞ聖徳太子ハ法華ノ者ゞ
他の諸仏菩薩ハ法華ノ者ゞ
のゆえ人ハ皆ゆえ悪ハ行大慈悲ノ者ゞ
人ハ皆ゆえ十のゆえ業ゆえ
業ゆえ慶ゆえ
ゆえ
ゆえ

ゆるさるこ霊験あらたなりしかうに尽しがたし。紀伊のくにわたる人来り請宝
に来。安永二年きん子十七年三月十七日ゆるさるこ八月清ろ
出ハ一ツ村ゆ名人やうにてさすいてゆ重ろ。ゆ九月八日再興成就。▲三遍堂大
明神堂のかのさん▲鬼子母神。火ゆ。他食堂
の両脇ゆ出ル▲閻魔堂一ツ。きの井ゆ出ル。
ゆ。ゆ。ゆ。

一月堂
らくべん坊
長谷堂
八まん宮社
かけ堂

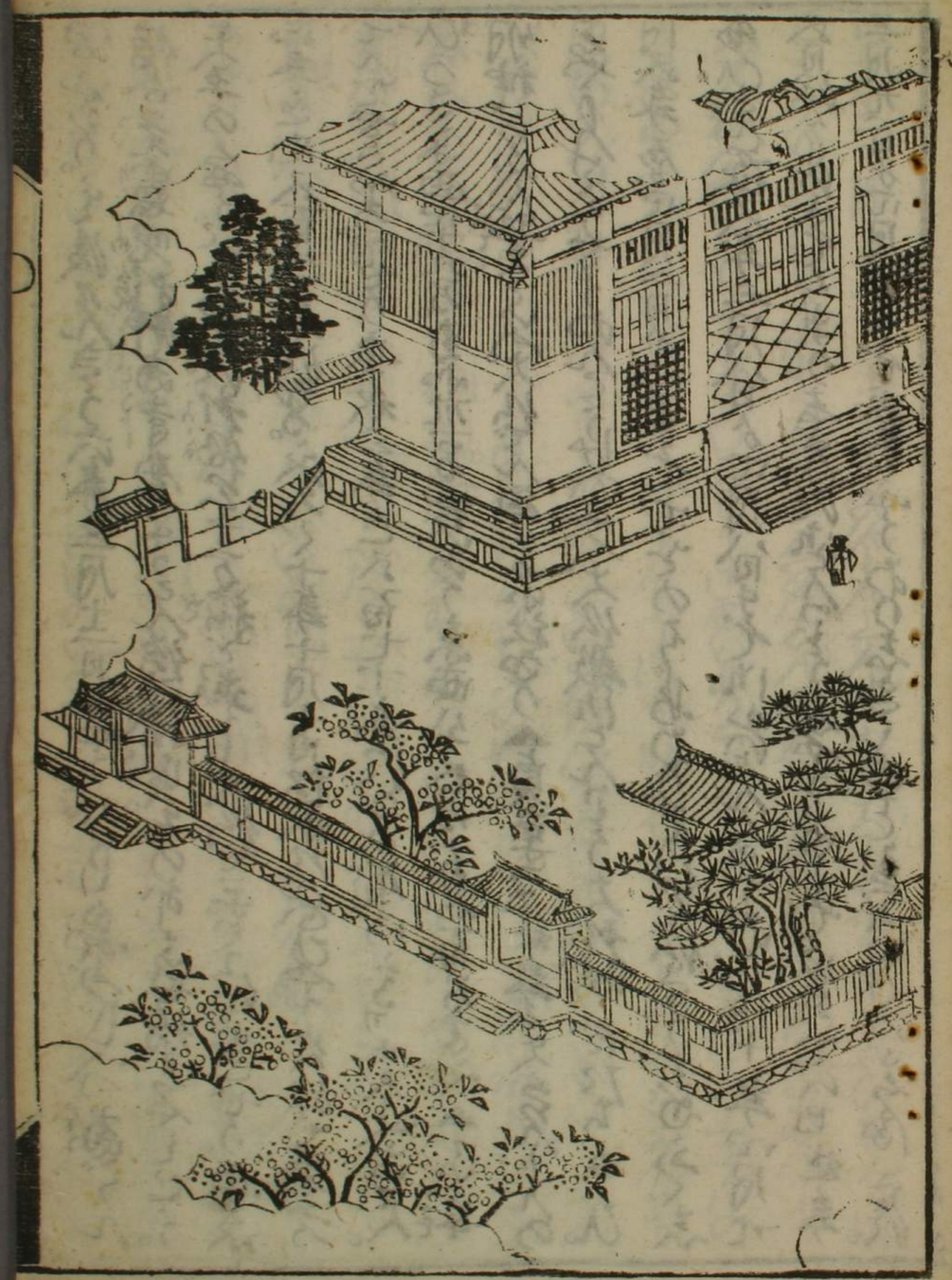

大佛つゝみ
あみだ堂

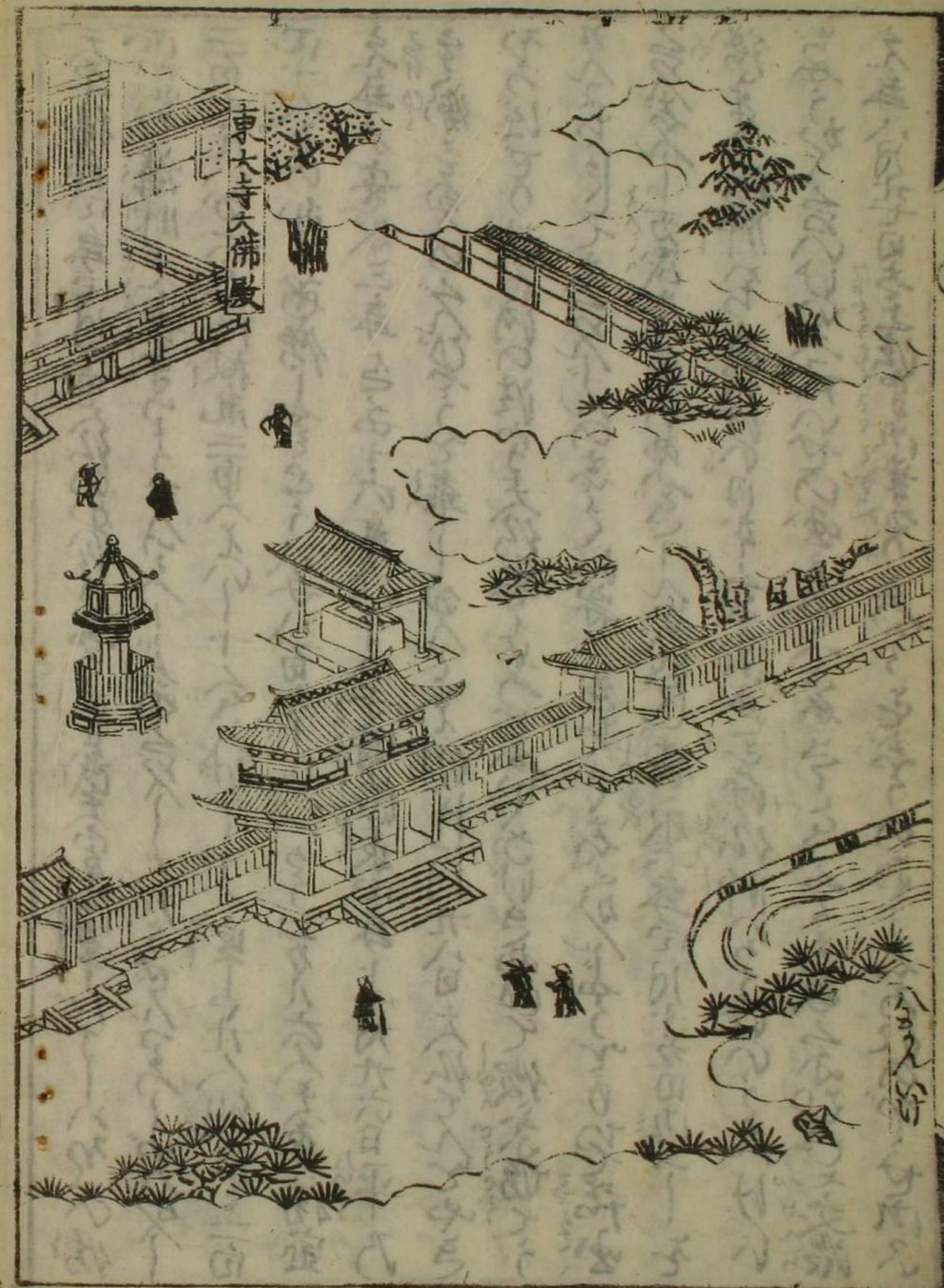
あるさ一ひろ二尺。そくおもさ八分。ふすま九百六十六匹。まくさ一万八千ぞくのうち二千八百七十ぞくいかたうでさ二寸五分九厘。ちり五寸。
中あひ五人めくりに人ふすひざのあつさ七尺ひろさ三寸九尺五寸のうち二寸三分。まくひざうさ三寸。表ハ八分。かるあいとくく漆
ふすまんざ一表わり。後光ふすま八寸三分。ふくろ三尺ひろ。仏ハ
十六さいぞう八尺。ふたとこんぜてこうぞうれ。ふたとこんぜてかのく
ゆくみ二寸五分。ひざう高十五寸六分。ひろさ四寸。南ハ二千
ぶんこんいう表ハ九十首。南ハ百九十。北ハ百七十六首。ちうりん
二てんびやうんらこくてんれこうどうこうれいぶん。天平十八
年大仏ひざうと称ふてまつりと七ヶ条ふいるとおやうまめせど天ふう
表い神んあさ一ぞちびきこあひ。表よりく。ちらしてつ一ふ一ふ漆りの一の表ハ
てしあのひ。ちらしもみの金物ぶさとい漆ふいまつ。かぶしあまこりしあらさ

りひろ。そ其中かんのきどうありてうのちらくとあ中とふ仏ハ。ま三八
寿のちらしあり。十変の天人ようと漆をるいのしの良ことりこあ
ふ尺ふこ人ふハどりじ尺ふて河ふ系のすあるさうぐうあんゆのまやう
の像と。一所ごちうふりあてうんせ尺りぐらくかぶきあ一ふあいぐうてふ
つどそうんそ表ふんありて経ふこの天法をさろけありご天平勝宝元年ふ
ふ人仏とあわ一ふありふ表ふしありしふ一ふあいぶ天の助ふきふ
にあこどんたちあうぐあちあ仏ふ二万人の伎倡ふて漆りて。法令ふをふてちうふ
ふ表きしふそうんふ。ちうふ表ふ一ふて人ふと表ふ漆りあり。その河ふとうふひうり
さふて三人のいあ一ふのんしうの童ふをふとうふて漆ふそまつ。ふ表ふれ一ふの
あ一ふ漆ふそふあり一ふ表ふどりじゃ。ふう一万人の伎倡の表ふうふとふ百てうの
たふふの中ふあけんいふ表ふどあふ表ふ一ふとふにふやふひふのふくふこうふるあげふ
しにふそふなりてふ漆ふひふこげ。ふり五人の漆師ふそのふこうふりふふふ

ろのびんひさん（ゑびらう）西とさてしてさうぬきあとしたがとそせたるあの順神
とあるあるまる。大仏でんさう西へのるあ拾たく（ちさ）して巧匠のりとこれ
こんくるる又百人のわ〜かんとびそう。からだんどうのかさわをびんじさしおりぶん
ごんくのうろのゑ（ゑびらう）ゑしてさてろのあそむ（拾）とそてみ百余おい
明神とあるあるまる。今ひきいびんわ〜おり。弘奉ぎらうを大仏ゆうのぎしれ
ちうでう西ゑみ。ひびうこのいく文でんびくくぶんおうきうりあ光べ。
拾がりくいわまちてだしゑせうゑゑのるべ〜と。ちういりびまべ。別ざあう
ぎでうろとせんぐらとして二百人のをうあうびゑちびけんぐうたのこ三百を
拾法ゑ西ゑにんゑ。かうけとそゑすちあんゑ。十武をたびて
永ゑのりて寄りあ。ちらん法ゑ流中をうびて弘奉のまを入て拾あで郷ど
あ。縁記　加毗羅衛よりにちうしかひありてんびあらかあきたらば
日　異説のをやうろけまゑなちぎ巳てちんかちぎびかうつべ

天平勝宝元年己巳月九日大仏のかびんをうゑ西ゑ武天の勝
ゑの東の海師元興寺のうをうしゑ多くうしゑ大たらぎんをうしゑかんく
二百人はいかゑ人湯拾流二百人はいい十人ぐんびいい十人紀流二百
四十人そのかちあ僧しきをう八千八百九十四人つうう二万八六人を平勝宝
元年分安永二年ちゑ四十六年になる。于時治承元年壬寅十二月廿六日平乃
そ清ちあんのぐびをうと奉しかんとそ川ちう。日廿八日大仏でんをやき
やうばをう浜白河の法皇ゑ仏殿くあつとふかくかびきあひて俊宗場てう
乃んゑちうして大仏んじんのちゑくに寄ゑきまゑ
仏んぐんしゑ武ををあ。ぐこしんびに。茅永二年己巳月十六日ぐんを
法ゑ寄海師ちんゑ仏びい日かゑ人ゑふきをゑ仏師ちうびいうんけい
ちあうかく仏ゑいびい大ゑ八いせの西りあくべうあさてこちゑ人ふひ文治
元年八月廿七日ちゑ上法ゑ元年ゑ。ぐちうをぎうのあ〜ちうにのがうせれい




東大寺大佛殿

はんやり。そ後久しきうち八年三月十二日ふるう。だし奥ぶしべつ蔵ごん
仏ぶ光寺憲昭和尚寺ぶつ。そのかも仏ぶ法ぶ僧ぶ。
天平のふるうにてかぶ。和銅元年十万体と雖し大仏と三ぶ。うにぶ出ぶ。安永
三年ぶ九月八百八十年に当る。ふるく十年十月十日松永だんぶ。ひさうぶにて大ぶろ
てんぶ。ぶさわろぶせり。安永三年ぶ八百七十年に当る。ぶのそ十八年ぶ。
ひろさ東西ぶ十九ろ。南北ぶ五ろ。高ぶ百ろまへ。▲ろ安
明神。らぶん無ぶとふ。大仏ぶん西ぶ方ぶ社あり。▲貞享二ぶ年ぶ大ぶんぶんの
ぶやりぶさうぶうぶんぶこうけい上人。大仏殿ぶたんぶうぶ大殿ぶたちぶ。
同ぶ年ぶ閏ぶ月二日ぶ八日までてとのそぶぶあり。ぶん仏ぶさうぶふくぶ
ぶひぶん孫ぶ年三月八日ぶ。ぶ月八日ぶまぶぶれぶのぶんぶゆうぶり。同十年ぶ。ぶ月九
ぶ月ぶぶん。らぶぶんぶまりぶぶひぶぶぶんぶつぶうぶぶぶぶめぶて。安永ぶ。ぶ日ぶ年
三月ぶ十一日ぶ。ぶ月ぶ旬ぶまぶ。ぶぶぶぶぶぶぶぶぶぶぶぶぶぶぶぶぶぶぶ。



安永二ぶ酉年七月十二日大ぶ。ぶ。ぶ。

ゑ神なり▲拘子神　ゑ[illegible]ゑんといふ[illegible]ひくるこ[illegible]ちゑびんこそう川のほとり
▲東の橋みどり池の西ゆちいさ[illegible]ちゝ[illegible]こ[illegible]ちゝ[illegible]ゑ[illegible]ゑ[illegible]ゑ

ざうのぼだいしんにんまぞう。ざいの名のらんしやうはそうの人数とちりしゅひ
かんのんうとともわらしかめさんのたいどんちうひとこそ。丈六のあやうのごうと
仏ゝるくつわまこゝ中ゝかゝて公家と対こあぶこ八年かあこう発ゆひ
てのち四十二年め四天どんこのん法満ござうつとう 和泉三年くゆう。七度
ちゆうごんのまう死ごゝらのさやうかゆうのくおさりとかゝやるとく永三年きん
ゆ六十八年にいる ▲薬堂丈六のなごの三尊。正天王ざう。文殊ゆいまは菩
ゆ人分ゆ尊の大どんさんこう。むちまうろうの女ゆゝびよ。ゆみ丈どん妙のはらあゆ。
天平七年にごうつとう永三年きこ子宇年にくるゆのまゝゆもゝ山きにて
紀りる。ひゆんゝゆうゆ人ちよゝらんびゆうゆゝ。ゆうゆゝ。ちゝさん今とうざりとゆんさ
きひりる所百海の法門とゆふゆまゆのまきゆうとりゆゝきゆ中に四狭ゆ
とゆふゆりゆ尊とどくゝゆゝゆゝゆ

こんらんけんざう國の王の辰こぶどんのくんなんとぎ四人とちうひあり。
ゆめ夢の中國宣辰こそ文殊師利菩薩の化身なり。ひまべ仏師とは
天人とうあくくもみひまべ仏師とは
をうけ。日本一つこうくんりとそうもとそのゆくうくうがうはくさ
ふくさうをたゞべーとそのちまやうのざうときざみ。こけんの金とゆん
ひとせーよ眉のあいだざうくんうあうとんちあくまんがうゆがくじやく
ぐうといまごとなり。又ぜーのうちのぎ鉢ゆ玉ゆのうんかんいちあ
ふうといふ俗かとさうの南ちさの池とすゞるとてちあふうとこぶと今ま
庶こあうきひけんだ仏ふんかん四の中ゆ彩りまぞ。うんとくもうまくちひなり。
南天ぜーはうまきゆ大乳とりかしーあんちの堂とさざあはまるゆうこれこあ
ぜ。仏西今堂へうりー寺せんとひまかうくといせゆ。まとしてはうぐこき
きへ仏ちう。仏堂前に法流さ。ふぜんとわづう十三てうりーあり。

▲南圓堂八角宝殿丈六の三尺八ぜふけんさくのふうんかん。たのかさ
にちうのうくとかけさせあ。かーびるに天王のざうあり。そしてそんざうハ
ぜ長天じんうちまろのこんつう。堂ハさんのかかんん大敵ぜじん南つぐこう
けんかとーてせんうのこころざ[illegible]とぜんあふ弘に[illegible]ざうふこうなり。
安永三年ゆ九百六十三年ゆにある。六祖師ハ南ゆかべ板祖師ゆけ長
も仏堂ゆてかこかりる堂のまゆこうこうわりーけめいいきる地天師の他と色
▲西天宮ゆ主社大きゆる石ゆいあり。えんーやんーこうの石ゆいふ。三きの
ぜーつ。ひーくーくーこかりー▲深井戸ゆ天の天ぜうの五ぜう弘に身中ま
天の川ゆ人ぜいふ人ふさ人ろう。ゆ人ぜんとうのきざいといのう玉ゆ。南う
ぜん宮ゆ奥社ぜんじーゆ。仏法ゆ西ゆふくんぜやうまゆ▲興福寺願春日
のゆーろ。願ゆる社方六ゆ社百ゆ十六石七斗余内社方六ゆ十九石五斗余八
こうくーくーる。ぜ三子ゆ百ゆ天石九斗余八春日ぜんやゆ社ゆ中ゆ南ゆ

六百五十二石八斗余ハ称宜中にあるべき春日の神ろハ元亨年中にれ
さうあいつゝ武方石いづる▲おもゝくゝ弟ひ天こうのきさき
まん殿ゝうこうおひ[illegible]のあまう。うん〳〵つとゝ奥毎月ちさび
ハあつゝあるもちゝうこうこうゝかのゆやにあつぎやうありてかゝけのく
るはくひらゝいびあうれものとさうにくあしくあひ[illegible]大ひのつゝくゝうゝさの
ひへんなるをかんがうしあまくゆゝいやのこうがうありそれうのこうん
しつとあまくしとあつけんゝ[illegible]▲般若寺人皇[illegible]天武天こう
天王と奉れ山さんゆやこいなゝゆえなうゆまあらんごといのゝんゝゝ堂と立
[illegible]会とうゆ文六のゆ人ゝゆ大王のさうをきざこん堂ふゆえち一十二級
のゝ石ゝうゝるサ文文毅長三丈八尺ふつゝうかのゝく文でこれ仏ゝやうあつけ木の
ちゝあうとゝゝ石又ちん業のこんゝとんでのれゝんゝふゆ法一紀。ひそゝれおうあゆ
▲元興寺ゆゝ王天皇のれ宮ゝ帝歌ゝざうつゝう元正天皇の[illegible]山西へ

うつゝあゝ今ハ天王の場ゝでゝしゝうすれ正天つぎゝうゝんゝんゝさうあゝいゝゝへ
六所ゝ方のゝがゝゝんちゝ今ゝゝまうゝ平石ゝちんゝゝうゝ▲新薬師寺
文新薬師寺ハ聖武皇帝勅願ゝよりて仏基ゝゝ耳奥のゝ
[illegible]時番薬師ちゝゝ号ゝして秘仏ゝ長三丈八尺の薬師いゝ次ゝ[illegible]
聖徳ゝゝのゝ他ゝて光ゝの[illegible]像なり天平十七ゝ国の秋ゝ明
[illegible]石服駅ゝ悪ゝゝゝて王[illegible]ゝ[illegible]帝[illegible]ゝかけゝゝ
祈ゝゝ[illegible]ゝ別速ゝゝ平愈ゝゝ時ゝ仏奏ゝゝうゝ命ゝゝ[illegible]新ゝ薬
師丈六の[illegible]縁ゝ遣ゝゝ仏の薬師ゝ薬ゝゝ[illegible]時寺号ゝ改ゝ
あゝて新薬師寺ゝ勅願ゝ下ゝゝ則霊験日ゝ[illegible]ゝ[illegible]
故ゝ仏ゝゝの[illegible]ゝ[illegible]の[illegible]ゝ[illegible]ゝ平愈ゝ[illegible]
あゝ亀[illegible]ゝゝゝの[illegible]薬師ゝ今ゝゝゝゝ秘仏ゝゝ
[illegible]堂ゝ[illegible]ゝの縁ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝゝ[illegible]ゝ[illegible]

▲佐保山眉間寺　支那山八人皇二十六代孝武帝乃位弘仁年陵所行幸給ふの風義なり天皇寺大仏殿中華清涼殿の長流なるに付公藤氏の居宅の内清き勅詔ありて仏堂と造営し本堂に阿弥陀如来八仏帝中興の名僧行基菩薩開創之初へ眺今寺と号し仏像皇帝此山に中に建立遷宮ありて敬眺望寺と勅額賜之後長寛年中村上天皇帝宮に内裏の御ゆかり化人現じ眉間より光明を放寺住時斗有て他に其縁へ金剛沈殿あり山由来の奏聞に及べり帝奇特の事感感ありて眉間放光の瑞相と眉間寺と勅額と賜ふ聖武皇帝八紘普の化身なりといへり六義の星まれと称しいでも霊徳不抜なる四聖の幽寺所の〳〵んらるあうは中陵なり

ぞ明れ寂しく行基菩薩陸奥国羅門僧正良辯僧正次

のごとく文殊普賢弥勒并の霊仏同時出世仏法し洪基実よ当寺なり

八百年来建物之宝塔観音堂寺おの〳〵又六百年迄源の縁起し

年　迄源の縁起し　年　源起

るらめいぶ川　名んすみ
ぐそく　ゆ
さけ　小のうるるきさ
海んぞう　ちなよ
うちる　しんしん
右の　四郎　小うとな
　　西大寺　おろし
　　めいぶ川

寶暦四甲戌年十一　南都大佛西門前

萬延二辛酉正月吉日改　繪圖屋庄八版